

認定番号 Pg0090-12

Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

JCEP

認定証

Certificate of Accreditation Postgraduate Clinical Training Program

砂川市

病院名

砂川市立病院

殿

貴病院は特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価
機構の定める認定基準を達成していることを証します

認定 (4年)

有効期間

2020年11月1日から

2022年10月31日まで

発行日

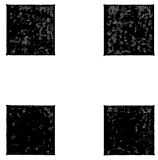
2020年11月1日

特定非営利活動法人 卒後臨床研修評価機構
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

理事長 高久史磨

評価委員長 有賀 徹





Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

JCEP

臨床研修評価 調査結果報告書

Pg20200018

砂川市 砂川市立病院

砂川市立病院卒後臨床研修プログラム(030830201)

砂川市立病院卒後臨床研修プログラム(030830202)

令和 2 年 11 月 17 日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構

ご挨拶

日頃から、NPO 法人 卒後臨床研修評価機構の事業の運営に当たりましては、何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴院の臨床研修における調査結果を報告申し上げます。

当評価機構は、臨床研修プログラムを中心とした第三者による臨床研修評価を行い、医療の発展に寄与するとともに、臨床研修病院群の質の向上を図ることを目的としています。本調査から得られた結果が、今後の貴院における臨床研修の質の向上のために資することになりますれば幸甚です。

また、本評価機構は評価体系、および臨床研修評価を実施するうえでの諸問題等について研究し、このような研究活動を通して医療の質の向上と社会貢献を目指します。本調査結果、および評価項目等についてのご意見やご要望をいただくことができましたら誠にありがたく存じます。

今後とも、宜しくご支援とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴院の一層のご発展をお祈り申し上げます。

令和2年11月17日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構

理事長 高久 史磨

評価委員長 有賀 徹

臨床研修評価 調査結果報告書について

＞報告書の構成

1. 対象病院ならびにプログラム名
2. 臨床研修指定区分
3. 評価のまとめ※1
4. 大項目別評価※2
5. 評価結果一覧※3

※1 評価のまとめ

病院の臨床研修病院としての役割や性格を踏まえたうえで、主に臨床研修プログラムを中心とした所見を述べています。

大項目間の評価結果の相対的なバランスについて指摘すべきことがある場合は、その点についても記述してあります。

※2 大項目別評価

大項目別に、中項目の評価結果を「適切と評価された項目」と「検討を要する内容が見られた項目」、および「改善を要すると評価された項目」として示したものです。

※3 評価結果一覧

- ・各評価項目の評価結果を示したものです。
- ・中項目評価は3段階で行われ「適切」、「要検討」、「要改善」で表記しました。
- ・小項目評価は3段階で行われ「a」、「b」、「c」で表記しました。
- ・小項目において「b」、「c」と判定された項目については、所見が記載されます。

評価項目の構造

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 大項目「Pg.○」 | : 臨床研修評価の対象領域における枠組みを表す項目 |
| 中項目「Pg.○.○」 | : 直接評価の対象となる項目 |
| 小項目「Pg.○.○.○」 | : 各中項目を客観的かつ的確に判定するための指標項目 |

臨床研修評価 調査結果報告書

1. 対象病院ならびにプログラム名： 砂川市立病院
砂川市立病院卒後臨床研修プログラム(030830201)
砂川市立病院卒後臨床研修プログラム(030830202)
2. 臨床研修指定区分： 基幹型臨床研修病院

上記について、臨床研修評価について standard:October 2019 を用いて行いましたので、その結果の概要を報告いたします。

3. 評価のまとめ

貴院では、救命救急センターをはじめ、多彩な病院機能をもとに、研修医が積極的に学べるよい研修環境が構築されています。北米型 ER に準じた救急外来研修は、研修医に主体性をもたせ、また指導医による熱い指導もあり研修医にとって満足度の高いものとなっています。院長がプログラム責任者の役割を担い、研修医との関係も良好です。2020年からの新制度では、一般外来研修の構築や、評価方法、チーム医療への参画や委員会活動、危機管理能力など、これまで以上の体制拡充が各病院に求められますので更なる検討も必要と思われれます。地域医療の研修先病院の多忙な状況にあっても、研修管理委員会への出席率の向上について引き続きご検討下さい。貴院は北海道の人気ある研修病院です。貴院の臨床研修のより一層の充実を切に祈念いたします。

4. 大項目別評価

Pg.1 臨床研修病院としての役割と理念・基本方針

【適切と評価された項目】

- Pg.1.1 臨床研修の理念・基本方針が確立されている
- Pg.1.2 臨床研修病院としての役割が明確になっている

【検討を要する内容がみられた項目】

特になし

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.2 臨床研修病院としての研修体制の確立

【適切と評価された項目】

Pg.2.2 臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.2.1 研修管理委員会が確立している

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.3 臨床研修病院としての教育研修環境の整備

【適切と評価された項目】

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.3.1 臨床研修病院としての教育研修体制がある

Pg.3.2 患者の診療に関する情報を管理している

Pg.3.3 医療に関する安全管理体制の確保がなされている

Pg.3.4 研修をサポートするための設備が整備されている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.4 研修医の採用・修了と組織的位置付け

【適切と評価された項目】

Pg.4.2 研修医の募集および採用が計画的になされている

Pg.4.4 研修医の処遇が確保されている

Pg.4.5 臨床研修の修了の手続きが確立している

Pg.4.6 個々の研修医に関する研修記録等が整理・保管されている

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.4.1 研修医の募集・採用の方法が確立している

Pg.4.3 研修医の研修規程が明確である

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.5 研修プログラムの確立

【適切と評価された項目】

Pg.5.1 研修プログラムが策定されている

Pg.5.2 研修プログラムが研修プロセス(計画、目標、方略、評価)に沿って実施され、評価されている

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.5.3 「医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)、資質・能力」が身につけられる内容がプログラムの中に組み込まれている

Pg.5.4 「経験すべき診察法・検査・手技」が身につけられる内容がプログラムの中に組み込まれている

Pg.5.5 経験すべき症候、疾病・病態について鑑別診断、初期治療を行う能力が身につけられる内容が組み込まれている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.6 研修医の評価

【適切と評価された項目】

Pg.6.1 研修医を評価するシステムが確立され、実施されている

Pg.6.2 研修医ごとに評価結果に応じた対応がなされている

【検討を要する内容がみられた項目】

特になし

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.7 研修医の指導体制の確立

【適切と評価された項目】

Pg.7.1 指導体制・診療上の責任者が明確である

Pg.7.2 研修医が行う診療行為に対してチェックする体制がある

Pg.7.3 臨床研修指導医の評価が行われている

【検討を要する内容がみられた項目】

特になし

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.8 修了後の進路

【適切と評価された項目】

Pg.8.1 自施設や他施設でその後の研修が継続できるように配慮している

Pg.8.2 正規の職員として採用される仕組みがある

Pg.8.3 修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある

【検討を要する内容がみられた項目】

特になし

【改善を要すると評価された項目】

特になし

5. 評価結果一覧

Pg.1	臨床研修病院としての役割と理念・基本方針	
Pg.1.1	臨床研修の理念・基本方針が確立されている	適切
Pg.1.1.1	理念・基本方針が明文化されている	a
Pg.1.1.2	院内および臨床研修病院群間で周知されている	a
Pg.1.1.3	定期的に見直されている	a
Pg.1.2	臨床研修病院としての役割が明確になっている	適切
Pg.1.2.1	臨床研修における役割・機能が明確である	a
Pg.1.2.2	臨床研修における役割・機能の範囲が地域に周知されている	a
Pg.1.2.3	臨床研修における役割・機能について、地域からの声に耳を傾けている	a

Pg.2	臨床研修病院としての研修体制の確立	
Pg.2.1	研修管理委員会が確立している	要検討 研修管理委員会では外部からの委員とともに、より多くのディスカッションができるよう検討されたい
Pg.2.1.1	研修管理委員会の構成が明確である	a
Pg.2.1.2	研修管理委員会の規程が明確である	a
Pg.2.1.3	研修管理委員会は定期的開催され、機能している	b 地域医療についての研修先病院の委員による出席が少ない
Pg.2.2	臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある	適切
Pg.2.2.1	計画的に実施するための事務担当者が確保され、機能している	a
Pg.2.2.2	研修プログラムごとにプログラム責任者が確保され、機能している	a
Pg.2.2.3	臨床研修指導医が確保され、機能している	a

Pg.3	臨床研修病院としての教育研修環境の整備	
Pg.3.1	臨床研修病院としての教育研修体制がある	要検討 今年から必須となった一般外来研修についての制度運用をより一層検討されたい。CPC に関しては、さらなる回数の増加について検討されたい
Pg.3.1.1	一般外来研修を行えるよう外来部門での教育研修体制が整備され、運営されている	b 一般外来研修について、総合内科外来での研修とそれ以外での研修とが十分に整理されているとは言えない
Pg.3.1.2	救急医療分野の研修ができる環境がある	a
Pg.3.1.3	経験すべき症候、疾病・病態の対象となる症例が確保されている	a
Pg.3.1.4	臨床病理検討会(CPC)が定期的開催されている	b CPC が年3回と少ないので、CPC を補完するカンファレンスが開催されているが、同じ症例を複数の臨床研修医が分担している
Pg.3.2	患者の診療に関する情報を管理している	要検討 退院時サマリー作成率の向上を検討されたい
Pg.3.2.1	専任の診療情報管理者が配置されている	a
Pg.3.2.2	診療に関する諸記録の管理がなされている	b 退院時サマリーについて退院後1週間以内作成率が100%でない
Pg.3.3	医療に関する安全管理体制の確保がなされている	要検討 研修医によるインシデントレポートの記載をより一層促すことについて検討されたい
Pg.3.3.1	安全管理者を配置している	a
Pg.3.3.2	安全管理部門がある	a
Pg.3.3.3	臨床研修における安全確保のための活動が行われている	b インシデントレポートを記載したことがない研修医もいる
Pg.3.3.4	研修医の医療事故発生時の対応体制が確立している	a
Pg.3.3.5	組織的に医療関連感染対策が行われている	a
Pg.3.3.6	患者相談窓口がある	a

Pg.3.4	研修をサポートするための設備が整備されている	要検討	シミュレーターを用いた研修をさらに充実することを検討されたい
Pg.3.4.1	図書・雑誌・インターネット利用環境が整備されている	a	
Pg.3.4.2	研修医のために院内外での生活環境が整備されている	a	
Pg.3.4.3	医学教育用シミュレーター、医学教育用ビデオ等の機材が活用されている	b	シミュレーター等を用いてのOJT研修を行ってから、実診療での手技研修へとつなげる研修方法とは必ずしもなっていない

Pg.4	研修医の採用・修了と組織的な位置付け		
Pg.4.1	研修医の募集・採用の方法が確立している	要検討	協力施設の研修分野、到達目標、方略、評価などを研修医に明示することについて検討されたい
Pg.4.1.1	研修医の公募規程がある	a	
Pg.4.1.2	研修プログラム等が公表されている	b	協力施設の施設名は明示されているが、そこでの研修内容が研修医に十分に周知されていない
Pg.4.1.3	研修医の採用試験が適正に行われている	a	
Pg.4.1.4	採用辞令が発行されている	a	
Pg.4.2	研修医の募集および採用が計画的になされている	適切	
Pg.4.2.1	募集および採用について計画的になされている	a	
Pg.4.2.2	募集および採用についての結果が評価され見直されている	a	
Pg.4.3	研修医の研修規程が明確である	要検討	臨床研修の規程など、病院群間で調整の上、共有することについて検討されたい
Pg.4.3.1	研修医の研修規程がある	b	研修管理委員会において、外部委員の出席が少なく、病院群間で調整が十分とは言えない
Pg.4.3.2	研修医が患者を担当する場合の役割が明示されている	a	
Pg.4.3.3	病棟、手術室、救急室、一般外来、当直等における研修実務に関する規程があり支援及び指導体制が明文化されている	a	
Pg.4.4	研修医の処遇が確保されている	適切	
Pg.4.4.1	研修医の位置付け・処遇に関する規程が明確になっている	a	
Pg.4.4.2	定期的に健康管理が行われている	a	
Pg.4.4.3	当直・時間外研修の際の処遇に配慮がなされている	a	

Pg.4.5	臨床研修の修了の手続きが確立している	適切
Pg.4.5.1	研修管理委員会に研修医ごとの評価・報告が行われている	a
Pg.4.5.2	必要事項の記載された臨床研修修了証が発行されている	a
Pg.4.5.3	修了が認められない場合の手順が確立している	a
Pg.4.6	個々の研修医に関する研修記録等が整理・保管されている	適切
Pg.4.6.1	すべての研修医(中断者を含む)についての記録が整理・保管されている	a
Pg.4.6.2	個々の研修内容が記録されている	a

Pg.5	研修プログラムの確立	
Pg.5.1	研修プログラムが策定されている	適切
Pg.5.1.1	理念・基本方針に沿った研修プログラムである	a
Pg.5.1.2	研修プログラムには必要事項が明示されている	a
Pg.5.1.3	研修プログラムが研修医一人ひとりに周知されている	a
Pg.5.1.4	研修医が積極的に研修プログラムを選択し研修に取り組む体制が確保されている	a
Pg.5.2	研修プログラムが研修プロセス(計画、目標、方略、評価)に沿って実施され、評価されている	適切
Pg.5.2.1	プログラムごとに内容に適した研修期間(スケジュール)が設定され、目標を達成できるように実施されている	a
Pg.5.2.2	研修プログラムの評価が行われている	a
Pg.5.3	「医師としての基本的価値観(プロフェッショナルリズム)、資質・能力」が身につけられる内容がプログラムの中に組み込まれている	要検討
Pg.5.3.1	基本的価値観、コミュニケーション能力、チーム医療について身につけられる内容が組み込まれている	b
Pg.5.3.2	インフォームド・コンセントについて身につけられる内容が組み込まれている	a
Pg.5.3.3	問題対応能力を修得する研修(EBMの実践・生涯自己学習習慣・患者への対応)が組み込まれている	a
Pg.5.3.4	安全管理についての研修(安全な医療の遂行・危機管理参画・安全確認・医療関連感染対策)が組み込まれている	b
Pg.5.3.5	症例呈示と意見交換を行う研修(カンファレンス・学術集会)が組み込まれている	b

接遇研修、火災訓練、災害訓練などの研修や訓練、また、安全管理委員会への参加を研修医に積極的に促すよう検討されたい

チーム医療への参加や接遇研修が十分とは言えない

研修医による安全管理委員会への出席は交代制となっているが、それでも出席が少ない

カンファレンスの記録において研修医による参加が確認できない

Pg.5.3.6	地域医療(地域医療の特性、地域包括ケア、 専門職連携)が組み込まれている	a	
Pg.5.3.7	医療の社会性について身につけられる内容 がプログラムの中に組み込まれている	b	研修医による火災訓練・災害訓練への参 加記録がない
Pg.5.4	「経験すべき診察法・検査・手技」が身につけ られる内容がプログラムの中に組み込まれて いる	要検討	シミュレーターを用いた研修について検 討されたい
Pg.5.4.1	診療における医療面接(对患者:コミュニケー ションスキル、聴取・記録、指示・指導)が組み 込まれている	a	
Pg.5.4.2	基本的診療能力が身につけられる内容が組 み込まれている	a	
Pg.5.4.3	基本的な身体診察法(病態把握、全身観察、 頭頸部、バイタルサインと精神状態、皮膚)が 組み込まれている	a	
Pg.5.4.4	基本的臨床検査(検査適応判断、実施、結果 解釈)が組み込まれている	a	
Pg.5.4.5	基本的手技(手技の適応決定・実施)が組み 込まれている	b	あらかじめシミュレーターを用いた研修が 必ずしも行われているとは言えない
Pg.5.4.6	基本的治療法(治療法の適応決定・実施)が 組み込まれている	a	
Pg.5.4.7	医療記録(診療録・処方箋・指示箋、診断書、 死亡診断書、証明書、CPC のまとめ、紹介状 と返信)を記載する仕組みがある	a	
Pg.5.4.8	診療計画(診療計画作成、CP 活用、入退院 判断、QOL を含めた総合的管理計画への参 画)を作成し、評価する教育が組み込まれて いる	a	
Pg.5.5	経験すべき症候、疾病・病態について鑑別診 断、初期治療を行う能力が身につけられる内 容が組み込まれている	要検討	研修医による緩和ケア講習会や緩和ケ アチームへの参加を促すことについて検 討されたい
Pg.5.5.1	経験すべき症候について組み込まれている	a	
Pg.5.5.2	緊急を要する症状・病態について組み込まれ ている	a	

Pg.5.5.3	経験すべき疾病・病態について患者を受け持ち、診断・検査・治療の方針を計画し、術後管理等を行うことが組み込まれている	a
Pg.5.5.4	基本的な診療において必要な分野・領域(感染対策、予防医療、虐待への対応、社会復帰支援、緩和ケア、アドバンス・ケア・プランニング、CPC)が組み込まれている	b 緩和ケアチームへの参加実績に乏しい

Pg.6	研修医の評価	
Pg.6.1	研修医を評価するシステムが確立され、実施されている	適切
Pg.6.1.1	評価者の構成が明確である	a
Pg.6.1.2	評価項目・基準の構成が明確である	a
Pg.6.1.3	評価者・評価項目が研修医に周知されている	a
Pg.6.1.4	研修医の評価が実施されている	a
Pg.6.2	研修医ごとに評価結果に応じた対応がなされている	適切
Pg.6.2.1	評価結果が報告され、指導がなされている	a
Pg.6.2.2	研修実績が基準に満たない場合の対応が明確である	a

Pg.7	研修医の指導体制の確立	
Pg.7.1	指導体制・診療上の責任者が明確である	適切
Pg.7.1.1	研修分野ごとに指導体制と臨床研修指導医、 その他の指導者が明確である	a
Pg.7.1.2	臨床研修指導医の役割が明示され、実践さ れている	a
Pg.7.1.3	臨床研修指導医が指導を行う体制が確保さ れている	a
Pg.7.1.4	指導者が指導を行う体制が確保されている	a
Pg.7.2	研修医が行う診療行為に対してチェックする 体制がある	適切
Pg.7.2.1	研修医の診療行為について臨床研修指導医 から指導を受ける体制が明確である	a
Pg.7.2.2	研修医の記載した診療録をチェックし指導す る仕組みがある	a
Pg.7.2.3	研修の記録について指導し、評価がなされる 体制がある	b
Pg.7.3	臨床研修指導医の評価が行われている	適切
Pg.7.3.1	評価方法が明確である	a
Pg.7.3.2	評価結果に対する検討が行われ、活用され ている	a

Pg.8	修了後の進路	
Pg.8.1	自施設や他施設でその後の研修が継続できるように配慮している	適切
Pg.8.1.1	専門研修の情報提供や紹介をする仕組みがある	a
Pg.8.2	正規の職員として採用される仕組みがある	適切
Pg.8.2.1	仕組みが明文化されている	a
Pg.8.2.2	採用した実績がある	a
Pg.8.3	修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある	適切
Pg.8.3.1	仕組みが明文化されている	a
